

※受付年月日 令和 . .

監護相当・生計費の負担についての確認書

記入例

(申立先) 上山市長様

私は、以下に記載する者（注1）について、監護に相当する日常生活上の世話及び必要な生計費の負担」という。）を下記のとおり申し立てます。
申立てが真正であることの証明を求められた場合は、関係する書類を提出します。

注1 18歳に達した日以後の最初の3月31日を経過した者から22歳に達した日以後の最初の3月31日までの間にある
注2 当該者があなたの収入により日常生活上の全部又は一部を営んでおり、かつ、これを欠くと通常的生活水準を

大学生年代（18歳の年度末～22歳の年度末まで）のお子さんは支給対象にはなりません。が、大学生年代以下のお子さんから数えて、3人以上を養育している場合に、第3子以降の児童（高校生年代以下）の手当額を増額させるための届出です。
※大学生年代の児童がいても、自立していて生計が分かれている場合や、大学生年代以下の児童が3人に満たない場合は確認書の提出は不要となります。

1	ふりがな 氏名 かみのやま いちろう	生年月日						続柄	個人番号										住 所					
	上山 一郎	平成	18	年	8	月	1	日	子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	〒 980 — 〇〇〇〇			
	該当に ○ ※	通学先（学生の場合のみ）						卒業予定時期 （学生の場合のみ）				申立人による監護相当の状況（いずれかに○）						申立人による生計費の負担の状況 （該当するものすべてに○）						
	○学生・就職・無職・その他（ ）	宮城〇〇大学						令和	11	年	3	月	1.同居し、日常生活上の世話・必要な保護をしている 2.別居しているが、定期的な連絡・面会等をしており、監護相当である 3.その他（ ）						1.生活費（食費、家賃等） 2.学費 3.その他（ ）					
	就職している場合は、その他に○をつけてください。	学生の場合、通っている学校と卒業予定時期を記入してください。						同居・別居や、就職の有無にかかわらず、請求者のお子さんの養育・生活費の負担している場合はカウントの対象となります。																
2	ふりがな 氏名	生年月日						続柄	個人番号										住 所					
	該当に ○ ※	通学先（学生の場合のみ）						卒業予定時期 （学生の場合のみ）				申立人による監護相当の状況（いずれかに○）						申立人による生計費の負担の状況 （該当するものすべてに○）						
	学生・就職・無職・その他（ ）							令和		年		月	1.同居し、日常生活上の世話・必要な保護をしている 2.別居しているが、定期的な連絡・面会等をしており、監護相当である 3.その他（ ）						1.生活費（食費、家賃等） 2.学費 3.その他（ ）					

※ 学生がアルバイト等をしている場合は学生に○をつける。

☆ 22歳の年度末前に卒業の場合（短大や専門学校等）再度この確認書の提出が必要となります。（対象者には通知します）

☆ 就職している場合でも監護（日常生活上の世話及び必要な保護をしている）・生計の負担等があれば該当し、現況届（年1回）の提出対象となります。（対象者には通知します。）

記載内容について上記のとおり相違ありません。

令和 8 年 4 月 1 日

【申立人】(児童手当の請求者・受給者)

住所 上山市河崎一丁目1番10号

氏名 上山 太郎

児童手当の請求者（受給者）の住所及び氏名を記入してください。